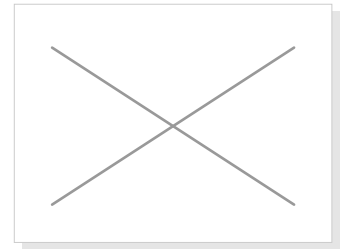


Xチャート / Yチャート / Wチャート

目的のために使うスキルと思考ツール

- ・主張・意見をつくり出すために多面的に見る
- ・「Xチャート / Yチャート / Wチャート」を使うと…



使い方

視点を決めて違いや共通点を整理・分類することで、新たな気付きを生み出しやすくなります。分類して気付いたことを多面的に見ることで、自分の主張や意見がつくり出しやすくなります。

集めた情報を多面的に見て主張・意見をつくり出すために、Xチャート / Yチャート / Wチャートを使うときは、次のようにしましょう。視点が3つあるときはYチャート、視点が4つあるときはXチャート、視点が5つあるときはWチャートを使います。

1. それぞれの領域に設定された視点ごとに、集めた情報を貼ります。
2. 視点ごとに集めた情報について気付いたことを書き出し、貼ります。
3. 異なる視点から見て気付いたことを組み合わせることで、自分の主張や意見がつくり出しやすくなります。

使用例 【災害にあった人々の願いはどう実現されるかを考えるとき】

1. 「大谷」「女川町」「田老地区」の3つの視点で、防潮堤と街づくりについて比べ、静止画を貼ります。
2. 実際の取り組みをピンクのカードに、住民などの思いや考えを緑のカードに書き出し、関係のあるカードのそばに貼ります。
3. 3つの異なる視点から見て気付いたことから、取り組みに関して共通していることや違っていることを捉え、それをもとにすることで、自分の主張や意見がつくり出せます。



※やるキットの記入例